

TENSE and ASPECT の考察

コミュニケーション力を伸ばすものは何か？

戸梶邦子 （国際教育総合文化研究所）

目 次

- 1 はじめに — 生徒が英語は嫌いだという理由
 - 1-1 寺島メソッドとの出会い
 - 1-2 **Tense & Aspect** の問題
- 2 思考実験表 — 3つの高校で実施する
 - 2-1 3校で調査用紙 A 表を実施
 - 2-2 調査した大阪府、京都府の3つの高校の概要
 - 2-3 B 表の結果
- 3 寺島メソッドと **Tense & Aspect**
 - 3-1 どの学力の学習者にもわかりやすい寺島メソッド
 - 3-2 寺島メソッドの記号 — 記号をつけて読んでいくと、すらすら読めて自然に **input** され楽しくなる
 - 3-3 寺島メソッドの文法 — 生徒の「わからなさ」を「納得」に変える
 - 3-4 **Tense と Aspect** についての指導
- 4 おわりに
 - 4-1 大切な取捨選択
 - 4-2 今後に残された課題

資料

引用文献

1 はじめに — 生徒が英語は嫌いだという理由

1-1 寺島メソッドとの出会い

Tense & Aspect の考察に取り組もうと思ったのは、高校英語教育に携わってすでに25年を経てからである。それまで英語教育に関して Tense & Aspect 以外に問題意識を持っていなかったわけではない。大学卒業後16年経って教師になり、最初に配属された高校はいつ授業崩壊してもおかしくないような学校であった。そして私はその生徒たちと格闘することになる。そうでなければ学校を辞めるしかないという状況だった。どうすれば英語の授業ができるのか。

英語科だけではなく他教科の先生にも何か方法はないか尋ね、その他研究会に参加したり、本屋さんで見つけた本などで私にできそうなことをやってみた。

まず、reading では易しい英語の絵本を探し日本語に英訳した後、絵も描いて提出させた。これは騒がしくてもできる作業であり。私も大声を張り上げずにすんだ。よく出来た作品を廊下の掲示板に張り出し生徒にも好評だった。しかし定期考査は学年で統一なので教科書もしなければならぬ。教科書の英文をノートに書かせ、4種類の色鉛筆を用意させて主部、述語動詞。前置詞句等（どのような規則を作ったかは忘れている）に、私の言うとおりに下線を引かせた。これは色鉛筆を持ってこない生徒が次第に増えていき、長続きしなかった。次にしたことは50分のうち、30分授業をし、その日の授業で出てきた単語・熟語を10個黒板に書き出し、15分で覚え、5分でテストをするというものである。よく出来たら欠点にはしないと約束をすると曲がりなりにも生徒は授業を聞いた。Grammar では翌年からであるが、例文をすべて生徒たちの生活空間で起こることや生徒たちの名前を使って自主教材を作ってみた。

しかし、確かに授業中も平気で立ち歩いていた生徒たちが授業に参加するようになったが、私は彼らに英語の力をつけることができたとは思えなかった。その後学校を3つ変わり、変わるごとに教える生徒たちの学力が少しずつ上がった。生徒たちの学力に応じて授業の方法を変える必要があり、本を読んで自分でできそうなことを実践していった。

いくつかを並べてみる。海木幸登(1995)『英語の授業づくりを楽しむ』—「要約は大切な学習技能」。副島隆彦(1995)『英文法の謎を解く』—「仮定法はなぜむずかしいか」。中川信雄(1996)『英文法がわからない』—細切れの説明。山崎紀美子(1997)『英文法の核心』。國弘正雄(1999)『英語の話し方』—「繰り返すということ」。佐野正之(2000)『アクションリサーチのすすめ—新しい英語授業研究』—「アクションリサーチの定義と方法」。静哲人(2002)『英語テスト作成の達人マニュアル』—「学習者に資するための5つの提言」。斎藤栄二(2003)『基礎学力をつける英語の授業』—「キーセンテンスは力を伸ばすために有効な働きをするか」。田中茂範。佐藤芳明・阿部一(2006)『英語感覚が身につく実践的指導』高梨庸雄(2005)『英語の授業力を高めるために』—「発問の技法・フィードバックの技法」。萩野俊哉(2008)『英文法指導 Q&A こんなふうに教えてみよう』。田中武夫・田中知聡(2009)『英語教師のための発問テクニック』—「発問を中心にすれば授業が変わる」。大西泰斗(2011)『一億人の英文法』。

ここに挙げた本はすべて授業で取り上げたものである。一部を抜粋して生徒に配布したり、方法を授業に取り入れて実践したりした。あまりうまくできなかったものもあるし、ずっと使い続けたものもある。

これらと並行して、私は授業崩壊寸前の教室を前にして途方にくれていた時からずっと寺島メソッドに関する本も読んでいた。面白い本だと思ったのだが、このメソッドを授業に取り入れることはしなかった。記号をつけた英文が、何もつけない文より複雑に見え、一見しただけではわかりやすいと思えなかったこと、そして何より身近にこのメソッドで授業をしている人がいなくて、一人で始める自信がなかったからである。しかし、寺島隆吉氏が出版する本はほとんど購入し、読んでいた。

そして教師になって15年くらいして4つ目の高校に転勤したとき、寺島メソッドで救われたのである。その頃の私は一つの単元が終わると全訳を生徒に配布し、授業中は訳ではなく訳し方を理解させることを主眼として授業をしていた。しかし新しい学校で、全訳を生徒に配ることを禁止され、生徒は訳を欲しがった。そのため、授業で英文の説明をしたあと、丁寧に日本語訳することを余儀なくされ、私は、その日本語訳を一生懸命ノートに書いている生徒の姿を見ているのが苦痛になったのだ。自分のしていることが空しく思えて、『記号づけ入門』を片手に授業で寺島メソッドを始めてみた。生徒の様子をみると特にわかりにくいという抵抗感はなく、私の心配は杞憂に終わった。それどころか生徒が丸暗記するのではなく理解していく様子が見えるようになり、驚いたことに学年500人ほどの中で外部模試の成績が中位くらいだった生徒が1年後学年トップになるなど、予想もしないことが起きた。そしてその後ずっと寺島メソッドで授業を行った。寺島隆吉氏や寺島美紀子氏の本はほとんど買っていたが読まずにいたものや、買わずにいた本も全部買って読んだ。

その過程で英語の「水源池」という考え方を始め、英語を理解して自分で英文が読めるようになるためには生徒に何を教えなければならないのかということを考えるようになった。それは単に英語構文を150覚えるとか、すべての文法事項の例外まで覚えるということではなかった。寺島隆吉氏や寺島美紀子氏の著作は、いわゆる how to ではなく哲学というものではないかと思えたのである。英語をどのように理解させていくのか、英語を学ぶことで生徒は何を学んでいくのか、ということにつきあたる。これは私にとってもとても面白いことだった。

寺島メソッドに出会う前の授業では、一つ一つの授業はそれなりに充実しているものもあったが、生徒が自分で英文を読んでいく力がついているのだろうかという疑念がいつもつきまとっていた。つねに英語に触れているときはそれでいいが、しばらくすれば忘れてしまうだろう。私が今生徒に教えていることは、例えば学校を卒業して10年後に英語が必要になったとき役にたつのだろうか。しかし、『英語にとって学力とは何か』『英語にとって文法とはなにか』を読んだとき、英語は暗記科目ではなく「幹」は自分で考えて理解していく科目だということに気がついたのである。

そして、40年も前に小田実(1974)が「日本の学校での英語教育は、植民地教育ではないか」と述べているが、現在の conversation や speech や communication の skill の向上が大合唱されている英語教育環境の中でそれを危惧する本が次々と出版されている。しかし、私はそういった状況の中でも寺島メソッドは、自立した学習者を育てる力を持った考え方であると思っている。

1-2 Tense & Aspect の問題

そしてその後10年間教えながら、時を表す概念について、何か教えにくい、はっきり説明できないという不愉快な気持ちはずっと持っているままだった。生徒がこれで理解できると納得するような説明が出来ず、曖昧な説明のままとにかく暗記することが一番の近道であると考え、生徒にはわ

かりにくいけれど暗記するようにと教えていた。そして優秀な生徒は、教え方がどうであれ、自分で自分のわかりやすい方法で身につけていくものだと、生徒に委ねていた。さらに、習得しない生徒に対しては、生徒の不勉強のせいだと思っていた。

しかし、そうではないのではないかと、思い始めたことがある。それは安藤貞雄『英語教師の文法研究(1983)』を読んで、「時制と相」という考え方があるのを知り、その後寺島隆吉『英語にとって学力とは何か』『英語にとって文法とは何か』で詳しく解説してあるのを読んだときである。

けれど、学校で使用するテキストや文法の参考書では、完了形も進行形も時制という項目で取り上げられており、時制と相が別の概念だという説明は皆無であった。相については学者が考えることであって、特に考える必要はないのだと思っていた。

そして、私自身も相変わらず現在完了時制という言葉を使って生徒に説明していた。しかも丁寧に、この完了時制は日本語にはないのでわかりにくい、沢山英語に触れているとわかっていくという間違った説明までしていた。

もう一つ、生徒に、わかりやすく説明できるようになったから現状のままでもいいのではないかと、私が思い始めた理由がある。

それは寺島元岐阜大学教授が考え出された寺島メソッド（英文に3種類の記号をつけて英文の流れに沿って左から右へ読んでいく方法）を使うことによってである。この方法を使って動詞句を正確に記号付けできるようになり、動詞句さえ間違わなければ、その動詞句によって時制と相にこだわらなくてもほぼ正しく読み取ることができたからである。

しかし、生徒が時、時制、相の概念をきちんと理解しているかどうかというのは、別の次元であるから、動詞句に正しく記号をつけられるということだけでは、生徒にとっては、わかりにくい、あるいは何となくわかるということではしかなかっただろう。現在形と進行形の違いがよくわからない、あるいはまた、完了形というのは日本語に訳すときにとまどうことがよくあるという事態を解決するわけではなかった。

これについては、寺島隆吉・寺島美紀子(2009)がわかりやすく次のように述べている。

1つの動詞句を作る。つまりこれらの動詞句を正しく運用する（あるいは正しく認識するには）、Tense-Aspect-Voice それぞれの概念を認識し、先に論じてきたように、それを数学的「順列組合せ」と同じように正しく組み合わせることが出来なければならない。文を生成するためには、こういう非常に複雑な思考が必要になるものなのだとすることを、教師自身がしっかりと認識しておく必要があるのではなからうか。自分が母語話者のごとく自由に操れるということと、それを学習者にわかるように教えることには、したがって大きな開きがあるのである。

しかし、実際に動詞句を作成するには、どういう動詞句を作成するかを頭に描いたときの順序とは異なり（つまり、上図とは逆順に）、まず主語の人称を考えたいうで時制を「現在形か、過去形か、未来か」で決め、次に Aspect（相）が「単純形か、進行形か、完了形か、完了進行形か」を決め、最後に「能動態か、受動態か」を決めていくことになる。すなわち下図のようになる。

Tense → Aspect → Voice

第1段階 主語の人称を考えたいうで、時制 Tense 「現在形か、過去形か、未来か」
を決める

第2段階 相 Aspect が「単純形か、進行形か、完了形か、完了進行形か」を決める

第3段階 態 voice「能動態か、受動態か」を決める

その際に、動詞句における「左半丸」の助動詞部分 (be, have) の「人称」と「時制」をまず決めなければならず、「右半丸」の本動詞部分 (-ing, -en) の決定は最後まで保留されることになる。実際は肯定形か否定形か疑問形かがこれらよりも先に判断を迫られることになる。

また、時制の現在形は、とくに be 動詞のばあいは主語の人称が 1 人称・2 人称・3 人称単数と複数の場合にそれぞれ異なること（一般動詞でも 3 人称単数とそれ以外は異なる）、過去形でも 3 人称単数の場合とそれ以外が異なることを考えると、その順列組合せは非常に複雑なものになる。その選択肢の中からひとつを間違いなく選択することがいかに複雑な思考過程を必要とすることなのか、ということがよくわかるであろう。

学習者は実際、そのようなところで大いに間違っしまい、「英語って難しい」「わけがわからない」と考えてしまうのではなからうか。これが先に「単純形はなぜ・どのように難しいのか？」で論じた点でのひとつでもある。

これは単純形だけに留まるものではないのだが、単純形で基本的な認識が出来上がれば進行形、完了形、完了進行形も同様に考えて進むことが可能である。実際に学生たちも、単純形で基本的考え方を学んだ後では、徐々に時制による間違いが減っていったことも留意すべきである。

高校生の英語の学力にはかなり学校差があるのが実情であり、私がこの問題に取り組もうと思ったのには、二つ理由がある。

一つ目は、私が勤務する学校が替わり、それまで教えていた生徒との学力差が歴然としていたことによる。

動詞句の理解の仕方に大きな開きがあり、動詞句をまるで理解していない。それだけではなく、単純形でさえ正確に答えられない生徒が多数いた。そしてこれは生徒が真面目に勉強しなかったからという理由だけではないのではないかと強く思った。また、中学校で 3 年間、英語を学んだ後での動詞句の混乱を整理する方法は、時制と相、時と相の概念の違いをきちんと押さえるのが最もわかりやすく、しかも近道ではないかと考えるようになった。

二つ目は、寺島隆吉・後藤幸子「言語習得研究と英語教育の新展開（上・下）」（岐阜大学教育学部研究報告 人文科学第 5 8 巻第 2 号 2010）及び、寺島隆吉（岐阜大学元教授）と寺島美紀子（朝日大学教授）の共著「Tense・Aspect・Voice の認識と指導」を読んで、追試してみようと思ったことである。

振り返って考えてみれば、「英語の基礎」という言葉は非常によく聞かれる言葉である。英語がわからないといえば、基礎がわかっていないからだ。英語が不得手だといえば、基礎から勉強しよう。難しい言葉を使う必要はない、基礎的な言葉、例えば中学校で学ぶ英語で充分だ等という説明をよく聞く。

しかし、それでは英語の基礎というのは何か。私は、「生徒に基礎を教えればよい」とか、「基礎を教えて欲しい」と言う人にいつもそう尋ねる。そうすると決まって返ってくる言葉は、「中学校で習う英語」である。そして「英会話は中学校で習う英語で充分だから」という言葉がついてくる。ちまたで流布されている最も大きな誤解は前記のようなことだと考えている。

「英語の基礎」については、私は寺島隆吉が述べている次の説明が最もわかりやすいと思う。寺島（1986: 167）は英語の基礎を次のように捉えている。

「固定した語順」と「よく発達している前置詞の体系」が英語の特徴だとすれば、私が生徒に基本的に教えねばならないのも、この 2 つだということになる。

また寺島 (2000 : 10-11) は英文法の見取り図として次のように記述している。

- 1) どんな複雑な文でも、すべて単文を組み合わせて作られている。
- 2) 単文を組み合わせる道具は「連結詞」である。連結詞は接続詞・疑問詞・関係詞の3つである。
- 3) したがって、英文法の課題は、単文の構造を説明することと、上記の3つの連結詞の用法を説明することに帰着する。
- 4) いわば文の内部の仕組みを解きあかすという意味で、「中中文法」と名づけるとすれば、後者は、文と文を結ぶ仕組みを解きあかすという意味で、「文間文法」とでも呼ぶことができる。
- 5) 「中中文法」の心臓部は動詞（助動詞を含む）・準動詞であり、これを理解できれば、英語の最難関のひとつを乗り越えたと言える。
- 6) したがって、従来の教科書や参考書のように、名詞からはじめるのではなく、いわゆる5文型（この名称および順序にも問題があるが）を教えたらず、動詞・準動詞から説明に入るべきである。

さらに、寺島 (2000 : 11) は、「中中文法」の心臓部である動詞については、次のように到達目標を構想していると述べている。

- (1) 動詞には時制(Tense)、相(Aspect)、態(Voice)の主要な3つの形があること。(この点 Unicornも従来の考え方の域を出ていない。つまり進行形や完了形をTense の中に含めて考えている。)
- (2) Tenseについては、時間に対する考え方・その表現の仕方が各国・各民族によって異なること。
- (3) Aspectについても、その考え方・表現の仕方が各国・各民族によって異なること。また英語のAspectについては、動詞を動作動詞と状態動詞にきちんと区別する必要があること。
- (4) Voiceについては、受身形が動作と状態の両方を表すこと。また日本語では能動形となる受身形があること、とくに「感情の受身形」を通じて、彼我の思考様式の違いを考える。
- (5) 準動詞については、Tenseはないが、Aspect、Voiceの両方を備えていること(このことを見ても、動詞を教えるとき、AspectをTenseから分離しておくことの利点が見えるはず。) また準動詞の否定形Negativeは、すべてnotをその前に置くことが共通の特徴であること。

生徒が Tense と Aspect について全く意識していないために起こる英語のわからなさは、この違いをはっきり認識して理解すれば、解消するのではないかと考えた。

もう一つ、英語が嫌いだという生徒にアンケートをとったとき、「英語は難しくてわからないから」という理由が多い。生徒は中学校で3年間英語を学んだあとでのことである。高校生になって英語嫌いになっている生徒達が、何故、「難しくてわからない」と思っているのか。

それについては、寺島美 (2009 : 123-125) が次のように述べている。

文を読んでいるとき、動詞がいくつも並んでいる場合、それがどこで切れるのかをはっきりさせなければ文は読めない。たとえば "...has done is said..." とか、 "...won't disclose is..." のように、文中に動詞が幾つもかたまっただけ並んでいる場合、どこまでが1つの動詞句としての塊なのか、つまりどこに動詞句の終わり(切れ)が来るのかを判断できなければ、文の読みは不可能だからである。

もちろん動詞句の塊を発見できるようになったからといってどんな長文もスラスラ直読直解できるようになるとは言えないのは当然である。寺島隆吉 (1986,2000) にあるように、文のもっとも大きな切れは連結詞であ

ること、したがって「記号づけ」ではそれを四角で囲み、その前で一旦立ち止まりつつ（つまり複文を単文に分解しながら）文を左から右に読み進むことが重要である。

直読直解できるようになるためには、このような英文の構造を知り、多くの文を読みつつ、単語量も蓄え、まさに螺旋状に読みの力をつけていかなければならない。単語をいくら覚えても、句動詞をいくつ覚えたとしても、「動詞句」が見分けられ、センスグループの位置、単文をつなぎ合わせて複文を構成する「連結詞」が分かるようにならなければ、英語が読めるようになったという実感は味わえない。

このときに「連結詞」の次に重要なのが、「動詞句」の塊を発見することだと考えられる。
(中略)

先にも述べたことだが、直読直解のためには、次の三つが分かる必要がある。

第1に、連結詞の前にもっとも大きな切れがあること。

第2に、次にどこまでが1つの塊の動詞句かを認識できること。

第3に、動詞句の塊がつかめたら、その塊としての動詞句の意味内容が分かること。

たとえば、**is said** を、先述のように、「言った」「言いました」「言っている」と認識するようでは英文は読めない。これは、和訳する際に日本語に受動態がなじまないから受動態を能動態に訳し直すのとは訳が違うからである。

したがって動詞句の意味内容の認識を確かなものにしていくには、思考実験表の取り組みだけでは足りない。これは、思考実験表が意味よりも形をまず優先させているから当然のことではある。しかし「形の認識」なしには一步も先に進めないのであるから、ここに来てようやく直読直解の入り口に足を踏み入れたことになる。

それではこれまで、動詞句の指導は生徒が理解しやすいように考えられ、組み立てられているのだろうか。生徒の躓きを改善するためには、これを見直すことが必要なのではないか。動詞句を学ぶにあたって、整理して理解するには寺島（2000）の次の説が最もわかりやすいと思う。

- ① 時間に対する考え方・表現の仕方が各国・各民族によって異なること。
- ② **Time**（時）と**Tense**（時制）は違う。英語の**Tense**（時制）に関しては、現在形と過去形しか持たないこと。
- ③ したがって未来形は助動詞の現在形の助けを借りて表現していること。
- ④ だとすると過去形も助動詞の助けを借りて表現可能であり、思考の経済学から言っても本来、過去形は不要であること。
- ⑤ 事実、日本語には過去形も未来形も、さらには現在形・原形という概念すらないこと。
- ⑥ またアジアには日本語の他にも過去形や未来形をもたず、過去や未来であることを表現するのに「昨日」「明日」などの副詞で間に合っている言語があること。
- ⑦ 進行形や完了形は時制（**Tense**）の一種ではなく相（**Aspect**）なのだという事。

私はこれを読むまで、日本語にはない時制を理解するのは難しいものだと思ってきた。高校時代、さらに大学の英文科で学んでいたとき、さらに教師になってからでさえ、形だけ暗記して何となくフィーリングで理解していたにすぎない。したがって生徒にも完了形を教えるときには、日本語にはない時制だから難しいけれど沢山英語に触れていたらわかるようになるから、とにかく動詞句の形だけしっかり暗記するようにと指示し、完了時制という言葉さえ使ってきた。

寺島は(2000)、時制と相について、さらに次のように述べている。

- ① 大過去 → 過去 → 現在 → 未来 → 大未来 のような人間による時間（**Time**）認識を、どのような動

詞の「形式」を使って表現しようとするかが時制 (Tense) の問題である。

- ② 基準時における動作のありよう (動作の始まり→途中→終わり) を虫めがねで拡大し、それをさらに詳しく記述しようとする表現方法が相 (Aspect) である。

これほど異なっている概念をひとくくりにして、時制として教えると、生徒が混乱するのは当然であつたろうと思う。さらに、進行形は be + ing 形 と教えるので、原形と現在形の違いを意識するが、完了形は have + 過去分詞形と教えるので、原形と現在形の区別がつかず、述語動詞の場合と準動詞の場合の運用の仕方を習得するのは大変困難になる。

2 思考実験表

2-1 3校で調査用紙 A 表を実施する

単文を理解するための要になっている「動詞句」について、生徒が書ける現状を知りたいと思い、寺島・後藤(2010)の論文を追試しようと思って、次の思考実験表を実施し、結果を調査してみた。寺島・後藤(2010)は次のような A 表と B 表を作成して実施している。A 表は形式だけを問い、B 表は副詞 (句・節) を入れて意味内容を問うものである。B 表は空欄に入れるものが複数にならないように改良されたものである。

調査用紙 A 表

Tense - Aspect 思考実験表

問題 He plays tennis. を、それぞれ指示にしたがって書きかえましょう。

		未来	will + 原形				
		進行形	be + ing 形	原形	過去形	過去分詞形	ing 形
		完了形	have + 過去分詞形	play	played	played	playing
		完了進行	have + been + ing 形				
		肯定 (ピリオドで終わる文)		否定 (not がある文)		疑問 (文の最後に?がある)	
単純形	現在	He plays tennis.					
	過去						
	未来						
進行形	現在						
	過去						
	未来						
完了形	現在						
	過去						
	未来						
完了進行形	現在						
	過去						
	未来						

調査用紙 B 表

ヒントから適切なものを選んで空欄に入れなさい。

肯定形

- 単純形 1 現在形 He plays tennis _____.
- 2 過去形 He played tennis _____.
- 3 未来形 He will play tennis _____.
- 進行形 4 現在形 He is playing tennis _____.
- 5 過去形 He was playing tennis _____.
- 完了形 6 現在形 He has played tennis _____.

ヒント	now	every day at 3 p.m.	when I saw him this morning
	next week, if he has free time	since he was 5 years old	when he was a student

2-2 調査した大阪府、京都府の三つの高校の概要

A 高校	実施人数：2年生 145人	時間：英語の授業	時期：2年1学期
	調査用紙：A表およびB表		
	2年生なのでA表の文法はすべて既習している。		
	偏差値 62前後		
B 高校	実施人数：1年生 67人	時間：英語の授業	時期：1年3学期
	調査用紙：A表		
	1年生3学期の終わり近くで、A表の文法はすべて既習している。		
	偏差値 55前後		
C 高校	実施人数：2年生 39人	時間：英語の授業	時期：2年1学期
	調査用紙：A表およびB表		
	2年生なのでA表の文法はすべて既習している。		
	偏差値 49前後		

誤答例と誤答数は資料として最後に掲載している

2-3 B表の結果

調査用紙 B 表の解答

肯定形

- 単純形 1 現在形 He plays tennis every day at 3 p.m.
- 2 過去形 He played tennis when he was a student.
- 3 未来形 He will play tennis next week, if he has free time.
- 進行形 4 現在形 He is playing tennis now.
- 5 過去形 He was playing tennis when I saw him this morning.
- 完了形 6 現在形 He has played tennis since he was 5 years old.

誤答例と誤答数

			A校(145)人	C校(67)人	合計(181)人
単純形	現在	now	2	11	13
		since he was 5 years old	0	1	1
		when I saw him this morning	0	5	5
		空欄	0	2	2
		合計	2	19	21
	過去	when I saw him this morning	24	12	36
		when he was 5 years old	2	1	3
		since he was 5 years old	0	2	2
		every day at 3 p.m.	0	3	3
		空欄	1	2	3
	合計	27	27	54	
	未来	every day at 3 p.m.	0	2	2
		合計	0	2	2
	進行形	現在	since he was 5 years old	1	1
next week if he has free time			0	2	2
now if he has free time			1	0	1
every day at 3 p.m.			1	8	9
when I saw him this morning			0	1	1
when he was a student			0	1	1
空欄			1	0	1
合計			4	13	17
過去		when he was a student	21	12	33
		since he was 5 years old	4	8	12
		every day at 3 p.m.	0	2	2
		空欄	2	2	4
		合計	27	24	51
完了形		現在	now	1	2
	every day at 3 p.m.		0	2	2
	when he was a student		3	7	10
	when I saw him this morning		1	3	4
	since he was a sstudent		1	0	1
	空欄		1	1	2
	合計		7	15	22

Tense ・ Aspect の意味・内容がどれくらい把握されているかを調査してみようと思って実施したが、解答が複数にならないようにすると、該当する答えが副詞句ではなくて副詞節になった解答が4つあり、しかもそのうちの3つの副詞節の述語動詞が過去形になっている。問題文の主節と副詞節を正確につなぐには、日本語で意味を考えるだけでは混乱してしまう生徒が多数いるのではないかと思った。以下誤答例を見ながら考察していきたい。

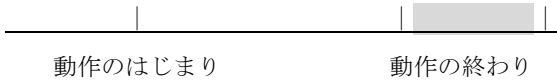
B表の結果から見えてきたもの

A校の間違いは生徒の間違い方がはっきりしているので、それを考えてみたい。まず、単純形現在である。間違いは now が2人だけである。この2人の間違い先は、1人は完了形現在との間違いであり、あ

と1つは進行形現在にある now if he has free time である。あてはまる解答がなかったのでこの解答をわざわざ考え出したのか、眼の力がないからなのだろうか。次に単純形過去と進行形過去の間違いである。単純形過去には when I saw him this morning 進行形過去には when he was a student を入れた間違いである。この二つの入れ替えをしている間違いは2人である。日本語訳だけを考えたらどちらも使えそうに思えるのだろう。解答の誤字がやはりあった。単純形過去に when he was 5 years old と書いた生徒が2人おり、完了形現在に since he was a student と書いた生徒が1人いる。これは英語力ではなく集中力の問題だろうか。

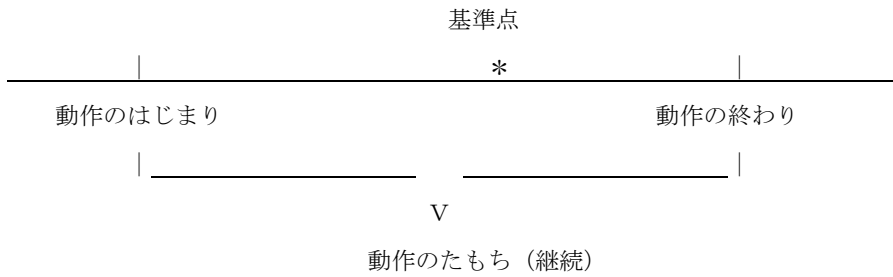
C校も含めてヒントのうっし間違い以外はaspectを認識していないことからくる間違いであると思う。寺島(2000:123-124)は完了形および進行形について次のように説明している。

現在、過去、(未来)の各々に完了形、進行形、完了進行形が対応するのであって、それが ever や already などの副詞によって「経験」や「完了」などの variation が生まれるわけである。
動作の結果



つまり完了形そのものは「過去時制」の一種ではなく、基準時が過去→現在→未来と変化するに従ってどの時制をも表現しうる。そしてその時制を示す標識が助動詞として使われている have である。原形 have が has (または have) であれば「現在完了」、had であれば「過去完了」、will have となれば「未来完了」ということになる。— 中略 —

これまで完了形について述べてきたことはそっくりそのまま進行形にもあてはまる。つまり、「基準になる時点において、その動作がすでに始まってはいるが、まだ終わらない一時的状態」を表現するのが進行形の本義であって、その動作が現在のことなのか過去のことなのかを指示するのは、助動詞として使われている be 動詞である。



(中略)
② 基準時における動作のありよう(動作の始まり→途中→終わり)を虫めがねで拡大し、それをさらに詳しく記述しようとする表現方法が相 (Aspect) である。

また寺島(2000)は、進行形と完了形のどちらを先に教えるべきかについて説明したあと次のように述べている。
次の表を見ていただきたい(「動作動詞」の現在形は「習慣」だけを示すわけではないし、完了形の現在も「結果」だけを示すわけではない。しかしこの表ではその基本的意味だけを記した。)

	現在形	進行形	完了形	完了進行形
動作動詞	習慣など	動作の一時的継続	結果など	継続
状態動詞	状態の継続		継続	

この表を見ると、いくつかのことがわかる。

- ① 動作の現在形（とりわけ動作動詞の現在形）は、「現在」の動作を示してはいない。なぜならいま進行中の動作を示すのは現在進行形であって現在形は「習慣」や「真理」を表すからである。
- ② 動作動詞及び状態動詞の「継続」に関しては、現在形と進行形をそのまま右側へ、完了形の位置まで平行移動したものが、完了形と完了進行形の意味になっていること。
- ③ またこの表で現在形を「過去形」にすれば、この欄の進行形・完了形・完了進行形はすべて現在進行形・過去完了進行形・過去完了進行形の意味として通用すること。これは未来についても同じ。
- ④ このように動作動詞と状態動詞に分類することは、動詞を、他動詞と自動詞に分けるに劣らないほど利用価値の高いものであること。

単純形現在の誤答で最も多いものは now であり、進行形現在の誤答で最も多いのは every day at 3 p. m. である。これは play が動作動詞であることを認識していれば、現在形は「今」の動作ではなく、「習慣」や「真理」を表しており、He plays tennis. に now はあてはまらないこと、また、進行形が一時的継続、つまり動作が未完了であることを認識していれば、He is playing tennis. に every day at 3 p. m. があてはまらないことはすぐわかると思う。さらに、それを過去進行形にあてはめれば、when he was a student が、過去の基準点である he was playing に対して、動作の一時的継続、つまりその基準点での未完了にあてはまらないということは歴然としている。

現在形と一緒に現在進行形を教え、過去形と一緒に過去進行形を教え、また完了形もすべて時制の 1 つとして教えることの弊害がこの調査にはっきり現れていると思う。

3 寺島メソッドと Tense & Aspect

3-1 どの学力の学習者にもわかりやすい寺島メソッド

寺島美（朝日大学教授）が寺島メソッドを次のように説明している。（2010）

私はこれまで「記号づけ」による読解方法を探求し実践してきた（寺島隆吉 1986, 寺島美紀子(2002 等)）。これは英語が動詞を心臓部とする言語であり、動詞の前に置かれる語が主語 subject, 後ろに置かれる語が目的語 object であること、すなわち動詞を認識でき、それを丸で囲むことができれば、日本語語順 SOV とは異なる英語語順 SVO が視覚的に明確化され、英文が読みやすくなること、また複文レベルにおいては、連結詞を四角で囲むことによって、理解が難しい長い文も単文に分解され、理解が容易になるからであった。（寺島隆吉 1896, 2000）。

これは、学習者にとっては漫然と英文を読むのではなく、英文の「どこまでを読んだのか」、「何を動詞と考えたのか」、「何を連結詞と考えたのか」といった自らの思考の形跡を、読み終わった後でさえ迎えることのできる一種のリトマス試験紙あるいはカルテ・レントゲン写真となっているという利点がある。さらに

教える側にとっては、学習者の「記号付け」を見るだけで、学習者の理解度を明確に認識できるという利点があるだけでなく、教えるポイントが明確に視覚的に浮き彫りになってくるという利点もある。

私はずっとこの記号付けを文字通り読解のために使ってきた。筆者の述べることを、読む側が自分の思いこみで読むのではなく、筆者の意図を正確に読むために最も適切であると考え、授業に取り入れてきた。寺島メソッドとの出会いは私の授業を画期的なものにしたと思っている。まず、私の学力が向上し、授業をすることが楽しいと思えるようになった。そうすると、授業を受けることを楽しいと思う生徒が増え、生徒の学力も向上した。実は私はそれで充分満足していた。

しかし、生徒達の中には、文章の読みを楽しむ以前に、英語の授業が苦痛だと思っているという場面にしばしば遭遇した。そして気がついたことは、生徒が躓いているのは文章の読み取りではなく、単文の構造を理解していないということであった。単文の構造を正確に読めなければ、自分の思いこみで誤解して読むことも起こりうる。英語の幹と枝葉に立ち返って、丸暗記ではなく幹を正確に理解しておくことは、読解力をつけるのに無駄のない学び方であり、理解して覚えると、覚えても覚えても忘れていくという徒労感を免れるだけでなく、理解できたという達成感もあるのではないかと思う。

3-2 寺島メソッドの記号をつけて読んでいくと、すらすら読めて自然に input され楽しくなる

寺島メソッドの記号付けは次のようなものである。

- 1 連結詞は で囲む 連結詞（従位接続詞・関係詞・間接疑問詞）
- 2 動詞句は 楕円 で囲む
- 3 前置詞句 [] で囲む

この3種類の記号で英文は一挙に視覚化される。複文は連結詞によって単文化され、動詞句は単文の構造を確定させる。なぜなら、動詞句の左側に主語があり、右側に目的語があることが明らかになるからである。しかし、さらにそこで生徒が躓いているのは、その動詞句そのものが理解できていないことである。動詞句の組合せは、tense・aspect・voiceの順に並んでいること、tenseとaspectは並列ではなく、異なる概念であることを理解しておくことが必要である。そうすれば思考実験表に表れた生徒の間違いは激減すると思う。

3-3 寺島メソッドの文法 — 生徒の「わからなさ」を「納得」に変える

3-3-1 進行形

寺島・後藤(2010)と寺島美(2009)の論文を読んで、読解だけではなく、文法における寺島メソッドの明確さ、わかりやすさに気がついた。それを思考実験表の生徒の間違いに沿って考察してみたい。

最初に定着しやすいと思われる進行形を検証する。「進行形・現在」の誤答率は最も少ない。しかし、0%ではなく空欄も含めて6%いる。誤答例はHe playing tennis.だけである。助動詞のbeが抜けている。これは、進行形はingだという覚え方をしているからだと思う。そしてこれを出発点にして、さまざまな否定文・疑問文が生まれる。

私達が使っている文法の教科書や参考書は、単純形・進行形・完了形をすべて時制の中で、時制の1つとして説明している。単純形の説明（習慣・不変の真理等）と並列に進行形が説明されているので、

進行形には助動詞 be が必要だということ、進行形の時制は助動詞 be で変換させるということが input されにくいのではないかと思います。進行形は be+ing だということを aspect という概念とともに説明すると、もっと記憶に残るのではないだろうか。そうすると、進行形という形自体には時制がないことも含まれてくる。

まず、肯定文に寺島メソッドの記号づけをすると次のようになる。

He (is playing) tennis.

・進行形否定文について：

次に否定文に記号をつけると次のようになる。

He (is | not | playing) tennis.

not は否定辞であって動詞句ではないこと、is playing は、この形で進行形になるのでそれぞれ半丸にしてセットで進行形だということをわかるようにする。そして、肯定文を否定文にするときは、動詞句の最初の語の後に not を入れると覚えておけば、否定辞の位置の間違いはなくなるはずである。否定文で、助動詞に do/does を使っているのは、単純形の否定文を作るとき、肯定文になかった do/does を使うことから連想しているのではないだろうか。

・進行形疑問文について：

疑問文に記号をつけると次のようになる。

(Is | he | playing) tennis?

動詞句 is playing は is と playing がセットで進行形になるので、それがわかるように半丸をつける。それから疑問文の場合は、動詞句の最初の語（左側の半丸をつけた語）と主語を入れ替える。これだけ覚えればよい。

・「進行形・過去」記号は次のようになる。

He (was playing) tennis. He (was | not | playing) tennis. (Was | he | playing) tennis?

進行形は be+ing で成り立っている。進行形の be は助動詞の働きをしている。この二つを確認すれば、be+ing の ing はどの時制でも変化せず、進行形の時制は be 動詞を変化させればよいということはわかりやすいのではないかと思います。

「進行形・未来」は、「進行形・現在・過去」と比べて誤答が非常に増え、誤答率は最も高くなっている。「未来=助動詞 will+原形」と「進行形=be +ing 形」の二つの複合形を足し算することによって難しくなっているせいである。

しかし、この難しさは現在のテキストのように、時制の中で進行形が単純形の一種であり、その変形であるかのように説明されると、be+ing のうちの be は時間が経つと忘れていくからではないだろうか。進行形は時制を表しているのではなく、「助動詞 be+ing 形」で動作をしている状態を表しているということを理解すると、時間が経っても忘れにくいと思う。そして肯定文ができれば、否定文・疑問文は非常に簡単に作れるはずである。否定文は動詞句の最初の語の後に not を入れればできるし、疑問文は動詞句の最初の語と主語を入れ替えればできる。

He (will be playing) tennis. He (will | not | be playing) tennis. (Will | he | be playing) tennis?

3-3-2 完了形

完了形も時制の1つとして説明されている。そうすると完了の概念がわかりにくくなる。進行形と同じである。完了形は「have + 過去分詞形」で成り立っていると説明されているが、それだけでは have の働きが本動詞と間違える生徒もでてきて当然である。

「助動詞 have + 過去分詞形」の概念を説明すると、進行形と同じように、この形だけでは時制を表していないことがわかる。そしてこの have は原形であること。原形の have を時制にあわせて変化させていくことを教える。

思考実験表では He have played tennis. という誤答が多くて誤答率が高かったが、have/has の習得順序は遅いということで誤答から除外すれば、完了形=have+過去分詞形という形は定着していると思う。have が助動詞だということを理解していれば、否定文・疑問文で do/does を使うという間違いはもっと少なかったのではないだろうか。また次のように記号をつけていけば、「完了形・現在」「完了形・過去」「完了形・未来」の否定文も疑問文も、進行形と同じように簡単にできる。

He (has played) tennis. He (has | not | played) tennis. (Has | he | played) tennis?
He (had played) tennis. He (had | not | played) tennis. (Had | he | played) tennis?
He (will have played) tennis. He (will | not | have played) tennis. (Will | he | have played) tennis?

3-3-3 完了進行形

「完了進行形・現在」「完了進行形・過去」は（完了形=助動詞 have+過去分詞形）と（進行形=助動詞 be+ing 形）の二つの複合形を完了形・進行形という順序で組み合わせなければならない。しかし、これを時制の1つだと思いこんで「have+been+ing 形」と丸暗記した後、使うことがなければ、しばらく経つと忘れてしまうのは当然ではないかと思う。

「完了進行形」は、「完了形+進行形」で名称のままの順序で組み合わせること、完了形の概念と進行形を概念を理解した上で、基本の have been は助動詞であること、時制の変化は動詞句の最初にある have で表すことさえ覚えておけばそれほど難しいことではないと思う。

肯定文ができれば、否定文・疑問文はこれまでと同じように考えたら簡単にできるはずである。否定辞 not は動詞句の最初の語の後につける。疑問文は主語と動詞句の最初の語を入れ替えるという作業だけである。

He (has been playing) tennis. He (has | not | been playing) tennis. (Has | he | been playing) tennis?
He (had been playing) tennis. He (had | not | been playing) tennis. (Had | he | been playing) tennis?

最も誤答率が高かった「完了進行形・未来」はさらに（未来形=助動詞 will+原形）（完了形=have+過去分詞形）（進行形=be+ing 形）の三つの複合形を足し算して組み合わせなければならない。

非常に難しそうに思えるが、進行形、完了形、完了進行形・現在、完了進行形・過去のすべてが時制を表しているのは動詞句の最初にある語だとわかっているならば、未来の助動詞 will が最初にくるのはすぐわかることだ。それが決まれば、後は「完了進行形・現在」「完了進行形・過去」と同じ作り方をす

ればよい。動詞句に記号さえつけば、否定文、疑問文は非常に簡単にできる。否定文で not は動詞句の最初の語の後につける。疑問文は主語と動詞句の最初の語を入れ替えるだけである。

He (will have been playing) tennis. He (will | not | have been playing) tennis.
(Will | he | have been playing) tennis?

3-3-4 単純形

「進行形」「完了形」「完了進行形」の動詞句はすべて助動詞が最初にあるので、否定文・疑問文は非常に簡単である。最も難しいのは単純形である。

「単純形・現在」「単純形・過去」「単純形・未来」の中では、「単純形・未来」が未来の助動詞が入るのでわかりやすい。記号をつければ次のようになる。

He (will play) tennis.

これで否定文・疑問文は簡単に作れる。否定文は動詞句最初の語 will のあとに not を入れ、疑問文は主語と will を入れ替えれば良い。

He (will | not | play) tennis. (Will | he | play) tennis?

「単純形・現在」と「単純形・過去」は否定文、疑問文だけ突如、助動詞が表れる。この難しさを寺島美紀子(2010)が空集合を使って生徒に説明している。3単現 s の習得が遅くなるにしても肯定文が作れば、助動詞 do/does/did を使って否定文、疑問文は簡単に作れるはずである。

He (plays) tennis. He (does | not | play) tennis. (Does | he | play) tennis?
He (played) tennis. He (did | not | play) tennis. (Did | he | play) tennis?

3-4 Tense と Aspect についての指導

Tense・Aspect について寺島美(1990: 30-31)は次のように述べている。

要するに Aspect の指導は難しいというこれまでの通念とは大きく異なり、be-have を助動詞として押さえ指導を工夫しさえすれば、進行形や完了形の指導は Tense の指導よりはるかに容易である。なぜなら現在形は意味の上から考えても難しい(→現在行われている動作を示すのではなく、習慣・真理・真実などを示す。現在行われている動作をあらわすのは現在進行形である)だけではなく、形式的にも疑問文や否定文を作るためには別の助動詞を必要とするからである。

これは過去形についてもいえることであり、その点、未来形や can, may, must のような助動詞をもつ文は「左半丸」(助動詞)がある分だけ形式操作はやさしいといえよう。

以上のことから次の諸点を確認できる。

- ① 機能語である助動詞は、内容語である動詞とあわせて指導してこそ意味がある。
- ② Tense から出発する従来の指導方法は必ずしも生徒にとってやさしいとは限らない。むしろ Aspect とりわ

け進行形の習得の方がはるかに容易である。これは既に言語習得理論からも明らかである。

③ 疑問文、否定文の作り方という問題も結局は助動詞を含めた「助動詞+動詞」の語順の問題に帰着する。

4 おわりに

4-1 大切な取捨選択

英文法をどのように教えるかということについて私が考えてきたことは、テキストにあげられている文法項目をできるだけすべて、ほぼ同じ比重で教えることであり、的確に読解したり、英作文を作るためにはどのように教えればよいのだろうかということである。

生徒にも、文法のための文法ではなく、最も効率よく読むことができる、あるいは書くことができるようにするために文法を学ぶのだといつも言ってきた。私達にとっては **English as a foreign language** なのだから、英語をマスターするには文法を学ぶことが一番近道なのだと言ってきた。

しかし、今回の思考実験表の調査をして生徒の答案を見たとき、私はずいぶんわかりにくい文法の授業をしてきたのだということがわかった。

寺島美 (1990)が、中学校で学ぶ文法項目を列挙したあと、「望ましい英文法指導のあり方」を次のように述べている。

この表によって、バラバラに並列されていた文法項目が構造的に把握されるだけでなく、何をこそ重点的に教えなければならないかが見えてくる。それを列挙すると次のようになる。

- ① 内容語と機能語では、内容語を重視して教えなければならない。
- ② 内容語の中でもとりわけ動詞が文法の心臓部である。
- ③ 機能語の中でもとりたてて教えなければならないのは連結詞だけであり、他はすべて内容語と関連させて教えなければ意味がない。
- ④ 命令文・感嘆文・疑問文・否定文などの文の種類も、結局は、「助動詞+動詞」の語順の使い方に帰着する。
- ⑤ 動詞の意味が文型を決めるのだから、これも結局は動詞を教えることに帰着する。

寺島美 (1990)は、また次のように述べている。

要するに「枝葉」は難しいから定着せず、他方「幹」はきちんと教えられていないから、何が幹かもわからず、結局落ちこぼれていくというのである。その意味で、いま最も求められているのは、教えなくてもよい枝葉をはっきりさせ、それを大胆に切り捨てる勇気ではないだろうか。

私は、今回の思考実験表 (A 表・B 表とも) を実施して、改めてこの提言の大切さを実感した。さらに「幹」を机上の丸暗記ではなく、論理的に理解して覚えることは落ちこぼれていく生徒を救うだけではない。英語を学ぶすべての生徒が腑に落ちてわかるのではないかと思う。

4-2 今後に残された課題

私は当初、習得順序の研究をしようと思って、寺島・後藤(2010)の追試をすることにし、思考実験表を実施することを決めたが、データを集計しているうちに生徒達の間違いがあまりに多いことに驚いた。動詞句の複合形では、偏差値の低い学校の生徒たちの答案は空欄が多く、偏差値の高い学校の生徒たちは多岐にわたる間違いをしていることに気付いた。これは生徒たちが動詞句の複合形を学習するとき、

input だけして intake しないまま丸暗記を強制された結果なのではないかと思った。そして、空欄や多様な間違いは寺島メソッドで簡単に直すことができるので、これをメインに発表したいと思うようになった。

しかし、最初に焦点をあてた習得順序の研究は残されたままである。したがって以下に述べていることは従来の習得順序が正しいかどうかということが焦点ではない。私が調査した思考実験表の結果から気づいたことを述べたものであり、今後、習得順序に絞った研究をしてみたいと思っている。

次ページにある図表（図表 1（Krashen ら）、図表 2（白畑）、図表 3（A 表））をもとに、Krashen らや白畑の習得順序と A 表の習得順序の違いをいくつか挙げてみる。

図表 3 では「進行形・現在・肯定」「進行形・過去・肯定」「進行形・現在・否定」「進行形・過去・否定」「進行形・現在・疑問」「進行形・過去・疑問」（1 位・4 位・5 位・7 位・9 位・10 位）が上位にきており、図表 2 および図表 3 と同じような結果とも言える。

しかし、「進行形・未来・疑問」は 35 位で最も間違いが多くなっており、「進行形・未来・否定」は 26 位、「進行形・未来・肯定」は 21 位で比較的下位にきている。したがって「進行形」すべての定着が良いとはいえない。

次に図表 1・図表 2 では一般動詞（規則過去）が下位にきているが、図表 3 では（過去）は上位から中位にあり、（過去）が下位にあるのは「完了進行形・過去・疑問」のみである。したがって図表 3 は図表 1・図表 2 の結果とは異なっている。

また「単純形・現在」「単純形・過去」の（否定）と（疑問）はそれぞれ（否定）の方が（疑問）より誤答人数が多い。しかし、「単純形・未来」も含めて、「複合形」を作るものはすべて（疑問）の方が（否定）より誤答人数が多くなっている。

図表 1・図表 2 と図表 3 のデータの取り方の違いをあげると次のようなことがある。

図表 1・図表 2 では各文法形態素に肯定・否定・疑問といったような分類がされず、大まかな分類で捉えられている。

図表 1・図表 2・図表 3 の実験方法や被験者の数が異なっている。

図表 1 は Krashen らがこどもの発話からデータをとっている。

図表 2 は白畑が教室環境で英語を 6 年間学習した 31 人の高校生から発話データをとっている。

図表 3 は教室環境で英語を 4 年、あるいは 4 年 3 か月学習した 251 人の高校生から筆記データをとっている。

また、図表 3 を作ったとき、A 高校・B 高校・C 高校の習得順序をそれぞれ作ったが、学力の違いが習得順序の違いをもたらしているか、もし違っているとしたら何がどのように違っているかについても検討してみる必要があるのではないだろうかと思っている。

図表 1

図表 2

図表 3

習得順序 (Krashenら)		習得順序 (白畑)		習得順序 (3校全体)				
段階	項目	順位	項目	順位	項目		誤答者数	
第1	進行形(-ing)	1	be動詞(連結)	1	進行形	現在	肯定	8
	be動詞(連結)	2	進行形(-ing)	2	単純形	過去	肯定	9
	↓			3	単純形	未来	肯定	13
第2	be動詞(助動詞)	6	一般動詞(不規則過去)	4	進行形	過去	肯定	15
	↓			5	進行形	現在	否定	18
第3	一般動詞(不規則過去)	9	一般動詞(規則過去)	6	完了形	過去	肯定	19
	↓			7	進行形	過去	否定	20
第4	一般動詞(規則過去)			8	単純形	未来	否定	25
	三人称単数現在(-s)			9	進行形	現在	疑問	28
				10	進行形	過去	疑問	31
				11	完了進行形	過去	肯定	33
					完了形	過去	否定	33
				13	単純形	未来	疑問	34
				14	単純形	過去	疑問	41
				15	完了形	過去	疑問	44
					単純形	過去	否定	44
				17	単純形	現在	疑問	45
				18	完了進行形	過去	否定	56
					単純形	現在	否定	56
				20	完了形	現在	肯定	59
				21	進行形	未来	肯定	67
				22	完了形	現在	否定	71
				23	完了形	現在	疑問	76
				24	完了進行形	現在	肯定	84
				25	完了形	未来	肯定	90
				26	進行形	未来	否定	93
				27	完了進行形	過去	疑問	94
				28	完了進行形	未来	肯定	95
				29	完了進行形	現在	否定	96
				30	完了形	未来	否定	116
				31	完了進行形	未来	否定	117
				32	完了進行形	現在	疑問	120
				33	完了形	未来	疑問	139
				34	完了進行形	未来	疑問	143
				35	進行形	未来	疑問	146

以下は3校それぞれの習得順序を誤答者数の多い順に並べた表である。

A 校 (145)				B 校 (67)				C 校 (39)						
順位	項目			誤答者数	順位	項目			誤答者数	順位	項目			誤答者数
1	進行形	未来	疑問	69	1	進行形	未来	疑問	44	1	完了進行形	未来	疑問	35
2	完了進行形	未来	疑問	67	2	完了進行形	未来	疑問	41	2	完了形	未来	疑問	34
3	完了形	未来	疑問	65	3	完了形	未来	疑問	40	3	進行形	未来	疑問	33
4	完了進行形	未来	否定	58	4	完了進行形	現在	疑問	38		完了進行形	未来	否定	33
5	完了形	未来	否定	53	5	完了進行形	現在	否定	37	5	完了形	未来	否定	32
6	完了進行形	現在	疑問	52		進行形	未来	否定	34	6	完了進行形	現在	疑問	30
7	完了進行形	未来	肯定	46	6	完了進行形	現在	肯定	34		完了進行形	過去	疑問	30
8	完了形	未来	肯定	40	8	完了形	現在	疑問	33	8	完了進行形	現在	否定	26
	完了進行形	過去	疑問	40	9	完了形	現在	否定	32		完了進行形	未来	肯定	26
10	進行形	未来	否定	34	10	完了形	現在	肯定	31		単純形	過去	否定	25
11	完了進行形	現在	否定	33		完了形	未来	否定	31	10	進行形	未来	否定	25
12	完了進行形	現在	肯定	28	12	進行形	未来	肯定	28		完了形	未来	肯定	25
13	進行形	未来	肯定	22	13	完了進行形	未来	否定	26	13	完了進行形	過去	否定	24
14	完了形	現在	疑問	20	14	完了形	未来	肯定	25	14	単純形	現在	否定	23
	完了進行形	過去	否定	20	15	完了進行形	過去	疑問	24		完了形	現在	疑問	23
16	完了形	現在	否定	19	16	完了進行形	未来	肯定	23	16	単純形	現在	疑問	22
17	単純形	現在	否定	16	17	単純形	現在	否定	17		完了形	過去	疑問	22
18	完了形	現在	肯定	13		単純形	現在	疑問	17		完了進行形	現在	肯定	22
	完了進行形	過去	肯定	13	19	単純形	過去	否定	14	19	単純形	過去	疑問	21
20	完了形	過去	疑問	10		単純形	過去	疑問	14	20	完了形	現在	否定	20
21	完了形	過去	否定	9	21	完了形	過去	疑問	12		単純形	未来	疑問	19
22	単純形	現在	疑問	6		完了進行形	過去	否定	12	21	進行形	現在	疑問	19
	単純形	過去	疑問	6	23	単純形	未来	疑問	10		進行形	過去	疑問	19
24	単純形	過去	否定	5	24	進行形	過去	疑問	9	24	進行形	未来	肯定	17
	単純形	未来	疑問	5	25	単純形	未来	否定	8		完了形	過去	否定	17
26	単純形	未来	否定	4	26	完了形	過去	否定	7	26	完了形	現在	肯定	15
	進行形	現在	否定	4		完了進行形	過去	肯定	7		単純形	未来	否定	13
	進行形	現在	疑問	4	28	進行形	現在	疑問	5	27	進行形	過去	否定	13
	完了形	過去	肯定	4		進行形	過去	肯定	5		完了進行形	過去	肯定	13
30	進行形	過去	疑問	3	31	進行形	過去	否定	5	30	完了進行形	過去	肯定	12
31	進行形	過去	肯定	2		単純形	未来	肯定	4	31	進行形	現在	否定	11
	進行形	過去	否定	2	32	進行形	現在	否定	3	32	単純形	未来	肯定	8
33	単純形	過去	肯定	1		完了形	過去	肯定	3		進行形	過去	肯定	8
	単純形	未来	肯定	1	34	単純形	過去	肯定	1	34	単純形	過去	肯定	7
	進行形	現在	肯定	1	35	進行形	現在	肯定	0		進行形	現在	肯定	7

この表をみると、英語の学力を問わず、おおまかであるが3校とも同じ傾向であることがわかる。

ご質問等があれば、下記のメールアドレスに連絡してください。

ご意見、ご批判等もいただければありがたいです。

tomuraushi2141@jcom.zaq.ne.jp

資料

1) 單純形								
(1-1) 單純形・現在				145人	67人	39人	251人	
			誤答例	A校	B校	C校	合計	
單純形	現在	否定	He not plays tennis.	3	5	6	14	
			He not play tennis.	0	0	4	4	
			He doesn't plays tennis.	0	2	3	5	
			He doesn't played tennis.	0	0	1	1	
			He doesn't tennis.	1	0	0	1	
			He don't play tennis.	10	3	2	15	
			He don't plays tennis.	1	2	0	3	
			He is not plays tennis.	0	2	3	5	
			He isn't play tennis.	1	3	3	7	
			空欄	0	0	1	1	
			合計	16	17	23	56	
			疑問	He play tennis?	0	0	1	1
				Does he plays tennis?	1	7	2	10
				Does he playing tennis?	1	0	0	1
	Do he play tennis?	3		1	1	5		
	Do he plays tennis?	0		1	1	2		
	Do you play tennis?	0		0	1	1		
	Is he play tennis?	1		3	3	7		
	Is he plays tennis?	0		4	2	6		
	Are he play tennis?	0		1	0	1		
	What he play tennis?	0		0	1	1		
	空欄	0		0	10	10		
	合計	6		17	22	45		
	(1-2) 單純形・過去							
	單純形	過去	肯定	He did play tennis.	1	0	1	2
				He did plays tennis.	0	0	1	1
				He was play tennis.	0	0	2	2
He was plays tennis.				0	1	1	2	
He was played tennis.				0	0	2	2	
合計				1	1	7	9	
否定				He not played tennis.	1	4	6	11
			He didn't played tennis.	0	0	3	3	
			He didn't plays tennis.	1	5	2	8	
			He doesn't played tennis.	1	1	2	4	
			He doesn't play tennis.	1	0	0	1	
			He wasn't played tennis.	0	3	3	6	
			He wasn't play tennis.	1	0	4	5	
			He wasn't plays tennis.	0	1	1	2	
			He was not 空欄	0	0	1	1	
			He not 空欄	0	0	1	1	
空欄			1	0	2	3		
合計		6	14	25	45			
疑問		Did he played tennis?	1	3	1	5		
		Did he plays tennis?	0	3	1	4		
		Did he playing tennis?	1	0	0	1		
		Did you played tennis?	0	0	1	1		
		Does he played tennis?	1	1	0	2		
		Does he play tennis?	1	0	0	1		
		Does he not played tennis?	0	1	0	1		
		Done he play tennis?	0	0	1	1		
		Was he plays tennis?	0	0	1	1		
		Was he played tennis?	0	4	3	7		
		Was he play tennis?	1	1	1	3		
		Is he played tennis?	0	1	0	1		
		空欄	1	0	12	13		
		合計	6	14	21	41		

(1-3) 単純形・未来			A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)		
単純形	未来	肯定	He will plays tennis.	1	4	4	9	
			He will be tennis.	0	0	1	1	
			He playing tennis.	0	0	2	2	
			空欄	0	0	1	1	
				合計	1	4	8	13
		否定	He not will play tennis.	0	1	0	1	
			He not playing tennis.	0	0	1	1	
			He will not plays tennis.	1	4	1	6	
			He will not played tennis.	0	1	0	1	
			He will doesn't plays tennis.	0	0	1	1	
			He do not will play tennis.	0	1	0	1	
			He don't playing tennis.	0	0	1	1	
			He wouldn't play tennis.	0	0	1	1	
			He would play tennis.	0	0	1	1	
			He wont play tennis.	1	0	0	1	
			He woun't play tennis.	2	0	0	2	
			He isn't going to play tennis.	0	0	1	1	
			He is not going to tennis.	0	1	0	1	
			空欄	0	0	6	6	
				合計	4	8	13	25
			⚡ 疑問	Will he plays tennis?	1	5	0	6
		Will him play tennis?		0	0	1	1	
		Will he playing tennis?		1	0	0	1	
		Will you play tennis?		1	0	0	1	
		Does he will plays tennis?		0	0	1	1	
		Does will he play tennis?		0	1	0	1	
		Does he playing tennis?		0	0	1	1	
		Does he will not play tennis?		0	1	0	1	
		Do he play tennis?		0	0	1	1	
		Did he played tennis?		0	1	0	1	
		Would he play tennis?		0	0	1	1	
		Is he going to play tennis?		0	2	0	2	
		空欄		2	0	14	16	
				合計	5	10	19	34

2) 進行形				A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)
(2-1) 進行形・現在							
進行形	現在	肯定	He playing tennis.	0	0	3	3
			空欄	0	0	4	4
			合計	0	0	7	7
		否定	He not playing tennis.	0	0	1	1
			He doesn't playing tennis.	0	2	3	5
			He do not playing tennis.	0	1	0	1
			He is not play tennis.	3	0	0	3
			空欄	0	0	7	7
			合計	3	3	11	17
		疑問	Does he playing tennis?	0	4	3	7
			Is he play tennis?	1	0	0	1
			Is he not playing tennis?	0	1	0	1
			空欄	2	0	16	18
			合計	3	5	19	27

(2-2) 進行形・過去				A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)
進行形	過去	肯定	He was played tennis.	1	3	1	5
			He was not playing tennis.	0	1	0	1
			He were playing tennis.	1	0	0	1
			He being played tennis.	0	1	0	1
			He did playing tennis.	0	0	1	1
			空欄	0	0	6	6
			合計	2	5	8	15
		否定	He was not played tennis.	0	2	1	3
			He wasn't play tennis.	1	0	0	1
			He weren't playing tennis.	1	0	0	1
			He wasn't going to tennis.	0	0	1	1
			He didn't playing tennis.	0	2	2	4
			He did not being play tennis.	0	1	0	1
			空欄	0	0	9	9
			合計	2	5	13	20
		疑問	Was he played tennis?	0	2	0	2
			Was not he playing tennis?	0	1	0	1
			Was he not playing tennis?	0	1	0	1
			Were he playing tennis?	1	0	0	1
			Did he is playing tennis?	0	0	1	1
			Did he playing tennis?	0	3	1	4
			Did he played tennis?	0	1	0	1
			Will he being play tennis?	0	1	0	1
			空欄	0	0	17	17
			合計	1	9	19	29

(2-3) 進行形・未来			A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)	
進行形	未来	肯定	He will playing tennis.	14	23	4	41
			He will be play tennis.	0	0	2	2
			He will play tennis.	0	1	1	2
			He will is playing tennis.	0	1	0	1
			He is going to play tennis.	6	3	1	10
			He is going to tennis.	0	0	1	1
			Will be he playing tennis.	0	0	1	1
			He is will plays tennis.	0	0	1	1
			空欄	2	0	6	8
			合計	22	28	17	67
		否定	He will not playing tennis.	21	24	5	50
			He will not play tennis.	0	2	1	3
			He won't be play tennis.	0	0	1	1
			He will be not playing tennis.	5	3	3	11
			He will be not play tennis.	0	1	1	2
			He will is not playing tennis.	0	1	0	1
			He is not going to play tennis.	1	1	0	2
			He isn't going to tennis.	0	0	1	1
			He is will not play tennis.	0	1	0	1
			He wouldn't playing tennis.	0	0	1	1
			He woun't playing tennis.	1	0	0	1
			He woun't be playing tennis.	1	0	0	1
			He does not going to play tennis.	0	1	0	1
			空欄	2	0	12	14
			合計	31	34	25	90
		疑問	Will he playing tennis?	33	26	8	67
			Will he is playing tennis?	5	2	0	7
			Will he be play tennis?	0	0	1	1
			Will he being playing tennis?	1	0	0	1
			Will he being play tennis?	0	1	0	1
			Will he play tennis?	0	2	0	2
			Will he have playing tennis ?	1	0	0	1
			Will be he playing tennis?	11	5	2	18
			Is he going to play tennis?	4	1	0	5
			Is he going to be playing tennis?	1	2	0	3
			Is he going to playing tennis?	2	0	0	2
Is he will be playing tennis?	0		1	0	1		
Is he will play tennis?	0		1	0	1		
Is he will playing tennis?	0		0	1	1		
Would he be playing tennis?	0		0	1	1		
Does he will be playing tennis?	1		0	0	1		
Does he going to play tennis?	0		1	0	1		
Does he playing tennis?	0		1	0	1		
Will is he 空欄	1		0	0	1		
Will 空欄	1		0	0	1		
空欄	8	1	20	29			
合計	69	44	33	146			

(3-1) 完了形・現在			A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)				
完了形	現在	肯定	He have played tennis.	13	29	8	50			
			He have play tennis.	0	0	1	1			
			He has plays tennis.	0	0	1	1			
			He has play tennis.	0	1	0	1			
			He is have played tennis.	0	1	0	1			
			空欄	0	0	5	5			
			合計	13	31	15	59			
			否定	He not have played tennis.	0	1	0	1		
				He haven't played tennis.	11	27	7	45		
				He haven't play tennis.	1	0	2	3		
				He hasn't plays tennis.	0	0	1	1		
				He has not play tennis.	0	1	0	1		
				He has not playing tennis.	1	1	0	2		
		He doesn't have played tennis.		3	1	1	5			
		He doesn't has played tennis.		0	0	1	1			
		He don't have played tennis.		1	0	0	1			
		空欄		2	1	8	11			
		合計		19	31	20	70			
		疑問		Have he played tennis?	11	22	3	36		
				Have he play tennis?	2	1	1	4		
			Have he playing tennis?	0	1	0	1			
			Has he play tennis?	0	1	0	1			
			Has he plays tennis?	0	0	1	1			
			Does he have played tennis?	3	4	0	7			
			Did he have played tennis?	0	1	0	1			
			What he have played tennis?	0	1	0	1			
			空欄	4	2	18	24			
			合計	20	33	23	76			
			(3-2) 完了形・過去							
			完了形	過去	肯定	He had play tennis..	2	1	3	6
						He had plaied tennis.	0	0	1	1
		He had playing tennis.				1	0	0	1	
		He had has played tennis.				1	0	0	1	
		He was have played tennis.				0	2	0	2	
		空欄				0	0	8	8	
		合計				4	3	12	19	
		否定				He not had played tennis.	0	1	0	1
						He hadn't play tennis.	2	2	3	7
						He had not playing tennis.	1	1	0	2
						He haven't played tennis.	0	0	1	1
						He didn't have played tennis.	2	1	1	4
						He doesn't have not played tennis.	1	0	0	1
					He was not had played tennis.	0	1	0	1	
					空欄	3	1	12	16	
					合計	9	7	17	33	
					疑問	Had he play tennis?	3	1	0	4
						Had he playing tennis?	0	1	0	1
						Had played tennis he?	0	1	0	1
						Did he have played tennis?	2	3	0	5
Did he have play tennis?	0	1				0	1			
Did he had played tennis?	0	1				0	1			
Have did he played tennis?	1	0				0	1			
Have he was not played tennis?	0	1				0	1			
Hasn't he play tennis?	0	0				1	1			
He didn't have played tennis?	0	0				1	1			
What he had played tennis?	0	1				0	1			
空欄	4	2				20	26			
合計	10	12				22	44			

(3-3) 完了形・未来			A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)	
完了形	未来	肯定					
			He will have playing tennis.	1	1	1	3
			He will have play tennis.	0	2	0	2
			He will have had played tennis.	1	0	0	1
			He will have been played tennis.	2	0	0	2
			He will has played tennis.	4	2	4	10
			He will has play tennis.	0	0	1	1
			He will has playing tennis.	0	1	0	1
			He will had played tennis.	0	4	1	5
			He will play tennis.	0	1	0	1
			He will played tennis.	1	3	0	4
			He will been going to play tennis.	1	0	0	1
			He has will played tennis.	1	1	0	2
			He has will play tennis.	1	0	0	1
			He has will be played tennis.	2	0	0	2
			He have will played tennis.	1	1	0	2
			He have will play tennis.	1	0	0	1
			He have to played tennis.	0	1	0	1
			He have been played tennis.	0	1	0	1
			He has been played tennis.	1	1	0	2
			He has been will play tennis.	0	1	0	1
			He has being played tennis.	2	0	0	2
			He has going to played tennis.	1	0	0	1
			He has going to play tennis.	1	0	0	1
			He has been going to play tennis.	2	0	0	2
			He has be going to played tennis.	1	0	1	2
			He is going to have playing tennis.	1	1	0	2
			He is going to have played tennis.	2	0	0	2
			He would have played tennis.	3	2	0	5
			He would played tennis.	1	0	0	1
			Will he had played tennis.	0	0	1	1
			He has been 空欄	1	0	0	1
			空欄	8	2	16	26
			合計	40	25	25	90

				A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)		
完了形	未来	否定	He will not played tennis.	2	4	0	6		
			He will not play tennis.	0	1	0	1		
			He will not playing tennis.	0	1	0	1		
			He will not have play tennis.	0	2	0	2		
			He will not have playing tennis.	1	2	1	4		
			He won't have been played tennis.	1	1	0	2		
			He won't have been playing tennis.	1	0	0	1		
			He will not has played tennis.	2	1	1	4		
			He will not has play tennis.	0	0	1	1		
			He will not had played tennis.	0	2	0	2		
			He won't been playing to play tennis.	1	0	0	1		
			He will not been played tennis.	1	0	0	1		
			He will haven't played tennis.	7	3	5	15		
			He will haven't had played tennis.	1	0	0	1		
			He will hasn't played tennis.	0	1	3	4		
			He will hadn't played tennis.	1	2	0	3		
			He would not have played tennis.	3	1	0	4		
			He wouldn't played tennis.	1	0	0	1		
			He woun't have played tennis.	2	0	0	2		
			He has not been will play tennis.	0	1	0	1		
			He has not been played tennis.	1	1	0	2		
			He hasn't being played tennis.	2	0	0	2		
			He hasn't be going to played tennis.	0	0	1	1		
			He hasn't going to played tennis.	1	0	0	1		
			He hasn't been going to play tennis.	2	0	0	2		
			He has not going to play tennis.	1	0	0	1		
			He hasn't be going to played tennis.	1	0	1	2		
			He haven't will play tennis.	1	0	0	1		
			He have not will played tennis.	1	1	0	2		
			He have not been played tennis.	0	1	0	1		
			He have not play tennis.	0	1	0	1		
			He has will not played tennis.	1	1	0	2		
			He has won't be played tennis.	1	0	0	1		
			He is not going to have played tennis.	1	0	0	1		
			He isn't going to have playing tennis.	1	1	0	2		
			He doesn't have played tennis.	1	0	0	1		
			Will he had played tennis.	0	0	1	1		
			空欄			14	3	18	35
					合計	53	31	32	116

			A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)	
完了形	未来	疑問	Will he have playing tennis?	0	1	1	2
			Will he have play tennis?	2	3	0	5
			Will he have been playing tennis?	1	0	0	1
			Will he has playing tennis?	0	1	0	1
			Will he has played tennis?	1	2	2	5
			Will he has been going to play tennis?	1	0	0	1
			Will he had played tennis?	0	2	1	3
			Will he played tennis?	3	3	0	6
			Will he play tennis?	0	1	0	1
			Will have he played tennis?	9	4	0	13
			Will have he play tennis?	1	0	0	1
			Will have he playing tennis?	0	1	0	1
			Will has he played tennis?	1	0	0	1
			Will had he played tennis.	0	1	0	1
			Have he will played tennis?	2	1	1	4
			Have he will play tennis?	2	1	0	3
			Have he played tennis?	0	1	0	1
			Have he be played tennis?	0	1	0	1
			Have he play tennis?	0	1	0	1
			Have he will not played tennis?	0	1	0	1
			Have will he played tennis?	3	1	0	4
			Has he will play tennis?	0	1	0	1
			Has he will played tennis?	1	2	1	4
			Has he will be played tennis?	1	0	0	1
			Has he been will play tennis?	0	1	0	1
			Has he been played tennis?	1	1	0	2
			Has he being played tennis?	2	0	0	2
			Has he going to played tennis?	2	0	0	2
			Has he going to play tennis?	1	0	0	1
			Has he be going to played tennis?	0	0	1	1
			Has he been going to play tennis?	2	0	0	2
			Is he going to have played tennis?	1	1	0	2
			Is he going to have playing tennis?	1	1	0	2
			Is he have been playing tennis?	1	0	0	1
Would he have played tennis?	2	2	0	4			
Would he played tennis?	1	0	0	1			
Would have he played tennis?	1	0	0	1			
Does he will have played tennis?	1	0	0	1			
Will he not has played tennis?	0	0	1	1			
What he have will played tennis?	0	1	0	1			
		空欄	21	4	26	51	
		合計	65	40	34	139	

4) 完了進行形									
(4-1) 完了進行形・現在				A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)		
完了進行形	現在	肯定	He have been playing tennis.	16	30	12	58		
			He have been played tennis.	1	1	0	2		
			He have been play tennis.	1	0	0	1		
			He have be playing tennis.	0	1	0	1		
			He has be playing tennis.	1	0	0	1		
			He has benig playing tennis.	1	0	0	1		
			He has being playing tennis.	0	1	0	1		
			He has been played tennis.	4	0	0	4		
			He has been playing tennis.	1	1	2	4		
			He had been playing tennis.	1	0	0	1		
			空欄	2	0	8	10		
			合計		28	34	22	84	
			否定		He not have been playing tennis.	0	1	1	2
					He have not been playing tennis.	13	25	6	44
				He haven't been play tennis.	1	0	0	1	
				He have not been played tennis.	1	1	0	2	
				He have not be playing tennis.	0	2	0	2	
				He haven't playing tennis.	0	0	1	1	
				He have been not playing tennis.	0	2	0	2	
				He hasn't be playing tennis.	1	0	0	1	
				He hasn't being played tennis.	3	0	0	3	
				He hasn't beeing played tennis.	1	0	0	1	
				He hasn't being playing tennis.	1	0	0	1	
				He has not been played tennis.	1	1	1	3	
				He has been not playing tennis.	1	2	1	4	
				He has been not played tennis.	0	0	1	1	
			He has not playing tennis.	0	1	0	1		
			He hadn't been playing tennis.	2	0	0	2		
		He does not have been playing tennis.	2	1	1	4			
		He doesn't have been played tennis.	1	0	0	1			
		He don't have been playing tennis.	1	0	0	1			
		He is not have been playing tennis.	0	1	0	1			
		空欄	4	0	14	18			
		合計		33	37	26	96		

				A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)
完了進行形	現在	疑問	Have he been playing tennis?	12	15	1	28
			Have he been played tennis?	1	1	0	2
			Have he been play tennis?	1	0	0	1
			Have he is playing tennis?	0	1	0	1
			Have he playing tennis?	0	1	0	1
			Have been he playing tennis?	1	2	0	3
			Have be he playing tennis?	0	1	0	1
			Have been playing tennis he?	0	1	0	1
			Have he not been playing tennis?	0	1	0	1
			Has he be playing tennis?	1	0	0	1
			Has he being played tennis?	3	0	0	3
			Has he beeing played tennis?	1	0	0	1
			Has he being playing tennis?	1	0	0	1
			Has he been played tennis?	3	0	1	4
			Has he is playing tennis?	1	0	0	1
			Has he playing tennis?	2	1	1	4
			Had he been playing tennis?	1	1	1	3
			Does he have been playing tennis?	2	3	0	5
			Does he have playing tennis?	0	1	0	1
			Does he has been playing tennis.?	0	0	1	1
			Has been he playing tennis?	8	3	0	11
			Has been he played tennis?	0	1	0	1
			Has he not been playing tennis?	1	0	0	1
			Hasn't he been playing tennis?	1	0	0	1
			Why he have been playing tennis?	0	1	0	1
			What he have been played tennis?	0	1	0	1
			He has been playing tennis?	0	0	1	1
			空欄	12	3	24	39
			合計	52	38	30	120

(4-2) 完了進行形・過去			A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)	
完了進行形	過去	肯定	He had be playing tennis.	1	2	0	3
			He had being played tennis.	3	0	0	3
			He had beeing played tennis.	1	0	0	1
			He had been played tennis.	3	2	1	6
			He had been play tennis.	0	0	1	1
			He had playing tennis.	1	1	0	2
			He has been playing tennis.	2	0	0	2
			He has been played tennis.	0	0	1	1
			He did have been playing tennis.	0	1	0	1
			He was have been playing tennis.	0	1	0	1
			空欄	2	0	10	12
			合計	13	7	13	33
			否定	He not had been playing tennis.	0	1	1
		He had not be playing tennis.		1	1	0	2
		He hadn't being played tennis.		3	0	0	3
		He hadn't beeing played tennis.		1	0	0	1
		He had not been played tennis.		3	2	1	6
		He hadn't been play tennis.		1	0	0	1
		He had not playing tennis.		1	1	0	2
		He had been not playing tennis.		1	3	1	5
		He had been not play tennis.		0	0	1	1
		He hasn't been playing tennis		1	0	0	1
		He hasn't been played tennis.		0	0	1	1
		He haven't done playing tennis.		0	0	1	1
		He did not have been playing tennis.		2	1	1	4
		He didn't have been played tennis.		1	0	0	1
		He did not have been play tennis.		0	1	0	1
		He doesn't have been playing tennis.		1	0	0	1
		He was not have been playing tennis.		0	1	0	1
		He hadn't 空欄	0	0	1	1	
		空欄	4	1	16	21	
		合計	20	12	24	56	
		疑問	Had he be playing tennis?	1	0	0	1
			Had he being played tennis?	3	0	0	3
			Had he beeing played tennis?	1	0	0	1
			Had he been played tennis?	4	1	1	6
			Had he been play tennis?	1	0	0	1
			Had he is playing tennis?	1	0	0	1
			Had he playing tennis?	2	2	1	5
			Had he has been playing tennis?	1	0	0	1
Had he not been playing tennis?	1		0	1	2		
Had been he played tennis?	0		1	0	1		
Had be he playing tennis?	0		1	0	1		
Had been he playing tennis?	7		5	0	12		
Had been playing tennis he?	0		1	0	1		
Hadn't he been playing tennis?	1		0	0	1		
Did he have been playing tennis?	2		3	1	6		
Did he have playing tennis?	0		1	0	1		
Have he was playing tennis?	0		1	0	1		
Have he was not been playing tennis?	0		1	0	1		
Have did he been playing tennis?	1		0	0	1		
Has he been playing tennis?	1		0	0	1		
Has he did been playing tennis.	0		1	0	1		
Why he had been playing tennis?	0		1	0	1		
What he had been played tennis?	0		1	0	1		
What he have been will played tennis?	0	1	0	1			
He had been playing tennis?	0	0	1	1			
Had he 空欄	0	0	1	1			
空欄	13	3	24	40			
合計	40	24	30	94			

(4-3) 完了進行形・未来			A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)	
完了進行形	未来	肯定	He will has been playing tennis.	0	4	3	7
			He will has been plays tennis.	0	0	1	1
			He will has being played tennis.	1	0	0	1
			He will has been going to play tennis.	1	0	0	1
			He will have been played tennis.	6	1	1	8
			He will have be playing tennis.	0	2	0	2
			He will have being played tennis.	2	0	0	2
			He will have playing tennis?	1	0	0	1
			He will had been playing tennis?	0	2	2	4
			He will be playing tennis.	0	1	0	1
			He will be has been playing tennis.	0	0	1	1
			He will be had been playing tennis.	0	0	1	1
			He will been playing tennis.	1	1	1	3
			He will playing tennis.	0	1	0	1
			He has will be playing tennis.	1	0	0	1
			He has will be play tennis.	1	0	0	1
			He has will been playing tennis.	1	1	0	2
			He has beeing going to played tennis.	1	0	0	1
			He has been going to be playing tenni	1	0	0	1
			He has been going to play tennis.	1	0	0	1
			He has been being playing tennis.	1	0	0	1
			He has being playing tennis.	1	0	0	1
			He has been playing tennis.	0	0	1	1
			He has going to be playing tennis.	1	0	0	1
			He have been will playing tennis.	0	2	0	2
			He had will been playing tennis.	1	0	0	1
			He had will be played tennis.	1	0	0	1
			He had been will played tennis.	0	1	0	1
			He is going to have been playing tenn	2	0	0	2
			He is going to had been playing tennis	0	1	0	1
			He would have been playing tennis.	2	3	0	5
			He would have been tennis.	1	0	0	1
			空欄	18	3	15	36
			合計	46	23	26	95

				A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)
完了進行形	未来	否定	He not has been playing tennis.	0	0	1	1
			He woun't have been playing tennis.	2	0	0	2
			He won't have been played tennis.	6	1	1	8
			He will not have been tennis.	1	0	0	1
			He will not have be playing tennis.	0	1	0	1
			He won't have being played tennis.	1	0	0	1
			He will not have playing tennis.	1	0	0	1
			He will not has been playing tennis.	0	2	1	3
			He won't has being played tennis	1	0	0	1
			He won't has been going to play tennis	1	0	0	1
			He will not had been playing tennis.	0	2	0	2
			He won't had being played tennis.	1	0	0	1
			He will not been playing tennis.	1	2	1	4
			He will not been plays tennis.	0	0	1	1
			He will not playing tennis.	0	1	0	1
			He will have not been playing tennis.	6	3	2	11
			He will haven't been played tennis.	0	0	1	1
			He will haven't played tennis.	1	0	0	1
			He will has not been playing tennis.	0	2	2	4
			He will hadn't been playing tennis.	0	0	1	1
			He will have been not playing tennis.	0	1	0	1
			He has won't be playing tennis.	1	0	0	1
			He has not will been playing tennis.	0	1	0	1
			He hasn't been being playing tennis.	1	0	0	1
			He has not been going to be playing t	1	0	0	1
			He hasn't been going to play tennis.	1	0	0	1
			He hasn't going to be playing tennis.	1	0	0	1
			He hasn't beeing going to played tenn	1	0	0	1
			He hasn't being playing tennis.	1	0	0	1
			He isn't going to have been playing te	1	1	0	2
			He had not been will played tennis.	0	1	0	1
			He hadn't will been playing tennis.	1	0	0	1
			He would not have been playing tennis	2	2	0	4
			He wouldn't have been tennis.	1	0	0	1
			He has will not been playing tennis.	1	0	0	1
			He has will be not been playing tennis	0	0	1	1
			He has been will not playing tennis.	0	1	0	1
			He doesn't will been playing tennis.	1	0	0	1
			He will have been playing tennis.	2	0	0	2
			He will be playing tennis.	0	1	0	1
He will be not 空欄	0	0	1	1			
空欄	20	4	20	44			
	合計		58	26	33	117	

			A(145)	B(67)	C(39)	合計(251)	
完了進行形	未来	疑問	Will he have been played tennis?	4	1	1	6
			Will he have playing tennis?	1	1	0	2
			Will he has been playing tennis?	1	2	2	5
			Will he has being played tennis?	1	0	0	1
			Will he has been going to play tennis?	1	0	0	1
			Will he has not been playing tennis?	0	1	0	1
			Will he had been playing tennis?	0	1	1	2
			Will he been playing tennis?	0	2	0	2
			Will he playing tennis?	0	1	0	1
			Will have he been playing tennis?	3	2	0	5
			Will have been he playing tennis?	5	3	0	8
			Will have been playing tennis?	1	0	0	1
			Will had he been playing tennis?	0	1	0	1
			Will had he been play tennis?	0	1	0	1
			Will had he being played tennis?	1	0	0	1
			Have he will been playing tennis?	2	1	1	4
			Have he will be playing tennis?	2	2	0	4
			Have he will not been playing tennis?	0	1	0	1
			Have he playing tennis?	0	1	0	1
			Has he will been playing tennis?	1	2	1	4
			Has he will be playing tennis?	1	0	0	1
			Has he being playing tennis?	1	0	0	1
			Has he going to be playing tennis?	1	0	0	1
			Has he been going to be playing tenni	1	0	0	1
			Has he been going to play tennis?	1	0	0	1
			Has he beeing going played tennis?	1	0	0	1
			Had he will been playing tennis.	1	0	1	2
			Have will he playing tennis?	0	1	0	1
			Have will he been playing tennis?	2	0	0	2
			Has will he been playing tennis?	0	1	0	1
			Has been he being playing tennis?	1	0	0	1
			Has been he will playing tennis?	0	1	0	1
Has been he will play tennis?	0	1	0	1			
Is he have been playing tennis?	1	0	0	1			
Is he going to have been playing tenni	0	3	0	3			
Woud he have been playing tennis?	0	2	0	2			
Would he have been tennis?	1	0	0	1			
Would he been playing tennis?	1	0	0	1			
Would have he been playing tennis?	1	0	0	1			
Won't have he being played tennis?	1	0	0	1			
What he have been will played tennis?	0	1	0	1			
Why he will be playing tennis?	0	1	0	1			
Will he has been 空欄	0	0	1	1			
空欄	29	7	27	63			
	合計	67	41	35	143		

引用文献

- 寺島隆吉 1986 『英語にとって学力とは何か』三友社出版
- 寺島隆吉 1991 『英語記号付け入門』三友社出版
- 寺島隆吉 2000 『英語にとって文法とは何か』あすなろ社
- 寺島隆吉・寺島美紀子 2009 「Tense・Aspect・の認識と指導」『岐阜大学教育学部研究報告 人文科学』第58巻 第1号 103-146
- 寺島美紀子 1990 『英語授業への挑戦』三友社出版
- 寺島隆吉・後藤幸子 2010 「言語習得研究と英語教育の新展開（上）」『岐阜大学教育学部研究報告 人文科学』第58巻 第2号 75-116
- 寺島隆吉・後藤幸子 2010 「言語習得研究と英語教育の新展開（下）」『岐阜大学教育学部研究報告 人文科学』第58巻 第2号 151-240
- 小田実 1974 『状況から』岩波書店
- 安藤貞雄 1983 『英語教師の文法研究』大修館書店
- 副島隆彦 1995 『英文法の謎を解く』ちくま新書
- 海木幸登 1995 『英語の授業づくりを楽しむ』三友社出版
- 中川信雄 1996 『英文法がわからない』研究者出版
- 山崎紀美子 1997 『英文法の核心』ちくま新書
- 國弘正雄 1999 『英語の話し方』たちばな出版
- 佐野正之 2000 『アクションリサーチのすすめ—新しい英語授業研究』大修館書店
- 静哲人 2002 『英語テスト作成の達人マニュアル』大修館書店
- 斎藤栄二 2003 『基礎学力をつける英語の授業』三省堂
- 白畑智彦（編著）2004 『英語習得の「常識」「非常識」』大修館書店
- 高梨庸雄 2005 『英語の「授業力」を高めるために』三省堂
- 田中茂範・佐藤芳明・阿部一 2006 『英語感覚がつく実践的指導』大修館書店
- 萩野俊哉 2008 『英文法指導 Q&A こんなふうに教えてみよう』大修館書店
- 田中武夫・田中知聡 2009 『英語教師のための発問テクニック』大修館書店
- 大西泰斗 2011 『一億人の英文法』東進ブックス